

## 「池子の森自然公園 ホタルの会通信」

(2023年8月12日)



編集：池子の森自然公園「ホタルの会」

### ▶ ゲンジボタル幼虫の生息環境ピンチ！

今夏は渇水に見舞われ、孵化して日が浅いホタル幼虫には厳しい生息環境になっています。特に久木池下流は河床が干上がった状況が続いており、全域に渡ってゲンジボタル幼虫生存の可能性は相当程度低いと思われます。

例年開催の芝生広場でのホタル観察会実施は来春の幼虫調査結果で判断しますが、現在の状況では来夏のゲンジボタル成虫の発生は限られた日、数になると予測され、同所でのホタル観察会の実施は難しいと考えます。



2021年7月29日  
7月1日からの降水量 **367 mm**



2022年8月4日  
7月1日からの降水量 **255 mm**



2023年8月6日  
7月1日からの降水量 **89 mm**



2023年8月6日、ヘドロが堆積して“お皿”のようになった久木池は貯水機能が消失、渇水期に役立たない。



カワニナ、水中の溶存酸素不足のため水際でアップアップ状態、ゲンジボタル幼虫に必要な稚貝は全滅か。



7月初旬のゲンジボタル幼虫

写真-1 久木池下流の水枯れ！